

公民館報

たかぎ

写真：仲田 昭二 「夏のお嬢さん」

題字：真浄寺書道会 奥村 陽菜

【第 657 号】

発行日 2024年7月15日

発行責任者 喬木村公民館長

林 司

編集責任者 公民館広報部長

池田 英明

印刷 龍共印刷株式会社



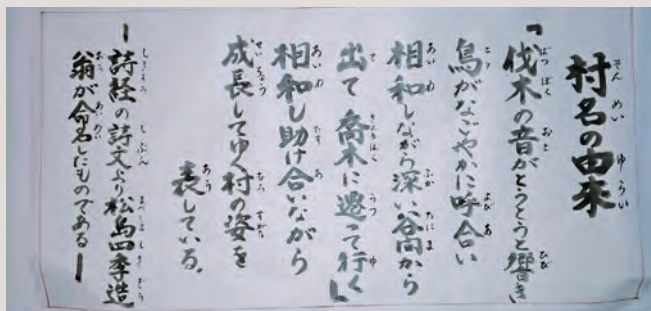
にむけて

今年度は、明治8年1月、阿島・小川・伊久間・富田・加々須の5か村が合併して喬木村として発足してから150年の節目の年です。

村でも多くの事業を企画していきます。今回の館報では、150周年に向けての動きを取り上げたいと思います。



喬木村歴史民俗資料館にある村歌碑



喬木村名の由来



村歌を紐解き 新たなステージへ (歴史民俗資料館長 宮下敏英)

明治42年(1909) 学校職員と役場職員で組織する五校(阿島・大島加々須・小川伊久間・富田・氏乗大和知尋常小学校)連合職員会で、村としての統一意識、地域への愛着を高めるため、現在歌われている村歌の基となる喬木村郷土唱歌の作成が決定されました。

作詞を福沢青藍(飯田中学教諭・現飯田高校)、作曲を長谷部己津次郎(同上)に委託。その後、昭和46年「村章」とともに「喬木村歌」として条例に定められました。

今年度は喬木村が発足して150周年。郷土の風土や歴史、先人の喬木村への思いや願いを村歌の歌詞を紐解くことによつて見つめ直し、新たなステージへの一歩したいと思います。11月の喬木村芸術祭の時、歴史民俗資料館で展示します。是非、お出かけください。

手作りジャック・オー・ランタンを 灯してみんなでお祝いしよう!

制作会 ● 10月12日(土) 13(日) 午前10時

点 火 ● 10月14日(月) 午後7時



実行委員のみなさんによるカボチャの苗植えの様子

村発足150周年 スタンプラリー

150

村では、喬木村発足150周年を記念して「デジタルスタンプラリー」を実施しています。村内30箇所に置かれたスポットの選定にあたっては、各地区からの意見を取り入れ、喬木村の魅力的な場所を知ってもらえるよう検討を重ねました。



訪れたことがない場所に足を運んでみてはいかがでしょうか。問い合わせ…役場産業振興課

喬木村発足150周年



平成元年 10月
公民館報 252号掲載



修復を終えた阿島の大傘

阿島の大傘 新たな姿に

阿島傘伝承館に展示されていた直径約6メートルの阿島の大傘が地域おこし協力隊の小林旅人さんらの手によって修復されました。喬木村発足150周年を迎えるにあたり、小林さんを中心に「阿島傘の会」や「菅沼商店」、村職員でつくる「阿島傘をつくろうクラブ」等の協力により修復を令和5年度におこないました。大傘は、村発足115年の平成元年に記念として日本一のジャンボ傘を作ろうということから誕生しました。しかし、誕生から30年以上が経ち、紙がボロボロになるなど劣化がすすんでいました。多くの村民が関わるものにしたいの思いから、手形を模様に採用しました。小林さんは、今回の修復をふりかえって「手形を押した子どもたちが、自分たちは日本一に関わったということに誇りをもてほしい。それが、この先も村への想いをつなぎ止めるものになるはず」と話してくれました。大傘は、9月28日に開く記念式典でも披露する予定です。



親子4人の手形

令和6年度に還暦を迎えられる皆様へ

昭和39年4月2日から昭和40年4月1日生まれの方は今年度、満60歳を迎えることとなります。

還暦を迎えられる喜びと、支えていただいた方々への感謝を込めて、9月28日に開催されます喬木村発足150周年記念喬木まつりに「還暦記念花火」を打ち上げます。

喬木村で育った方、住んでいる方、縁のある方皆様のご理解ご協力よろしくお願いします。

令和6年還暦記念花火実行委員長 松尾 明

150周年記念式典 / 喬木まつり

日時●9月28日(土) 10:00~20:00(予定)

場所●運動公園を中心とした一帯

これまでの喬木まつりからバージョンアップ!!
三遠南信物産展、お囃子・お獅子大集合(仮)等多数のイベントが予定されています。



夜間ソフト開幕!!

6月19日より、夜間ソフトが開幕しました。村内13チーム参加により36試合が予定されています。今年は、夜間ソフトが発足して第50回の記念大会でもあります。前回王者伊久間エンゼルスが連覇か、それとも他のチームが牙城を崩すのか。熱戦をお見逃しなく!

Aリーグ	
チーム名	主将
伊久間エンゼルス	平澤 巧司
上平龍王	林 寛仁
富田ライオンズ	木下 和則
北くら馬	西村 博幸
伊久間カッターズ	横前 悠佑
南ドラゴンズ	下原 弘章
帰牛原すき days	内山 丞治

Bリーグ	
チーム名	主将
勇龍	市岡 友幸
富田ブレーブス	木下 丈一郎
帰牛原ドンマイズ	羽生 道弘
南志ら鳩	福澤 翔
町天狗海	荒木 竜哉
寺の前	松澤 洋一

第50回大会を記念して11月に松本大学女子ソフトボール部との試合を計画中です!

会 長	山 上 秀 志
副 会 長	池 田 誠
副 会 長	市 瀬 博 之

過去2年成績	優勝	備考
令和4年	上平龍王	Aリーグ
	伊久間カッターズ	Bリーグ
令和5年	伊久間エンゼルス	Aリーグ
	南ドラゴンズ	Bリーグ



山上会長挨拶

連盟発足50周年の節目を迎え、記念イベントなども計画しています。多くの村民の皆様に関心を持って頂ける様に魅力を発信していきます。



少年野球喬木大会



5月5日に第48回少年野球喬木大会が運動公園、第一グラウンドを会場に飯伊地区の20チームが参加し開催されました。喬木少年野球クラブはAチームとBチームの2チームが出場しました。

結果は、惜しくもAチームが準優勝でした。

今大会は、上位大会への進出はかないませんでした。選手たちの努力が実を結び、来年はリベンジできるよう応援しています。

キャプテン 市瀬 壘

僕たち喬木少年野球クラブは、喬木大会2連覇を目標に練習を頑張ってきました。チーム目標は「自分分につ」ですが、僕たちは決勝で負けてしまい南信大会へ行くことはできませんでした。途中、チームのみんなが連打を打ち同点にすることが出来たことは、これからも続けて行きたいけれど、最後チームを盛り上げる声が出なくなってきたしまったことは改善していきたいです。

副キャプテン 宮崎 大志

私の最後の喬木大会は、初戦豊丘は勝てましたが次の切石戦は負けてしまいました。もう喬木大会はやるべきでないのも悔しかったです。ですが、この日のためにたくさん練習をしてたくさん練習試合をしました。結果負けてしまいました。チーム一丸となって試合ができたと思います。応援してくれた人、監督、コーチ、保護者の皆様、チームメイトがいたから大会ができたと思います。ありがとうございました。これからも喬木少年野球クラブを応援してください。

公民館スポーツ部

春のスポーツ交流会

5/12
開催

本館スポーツ部主催の「春のスポーツ交流会」が5月12日に中央社会体育館と芝グラウンドを会場に開催されました。

老若男女52名の皆さんに参加いただきました。

今年も、分館対抗という形は取らず、興味のあるスポーツに参加していただきました。

ペタンクやモルックなどのニュースポーツは、ルールを参加者同士で教え合うところから始め、慣れてくるとルールを追加するなど、それぞれの自由なやり方で楽しむことがで

きました。
10月27日には「秋のスポーツ交流会」を計画しています。
多くの方のご参加をお待ちしています。

○今回行った競技○

- ・ ペタンク
- ・ モルック
- ・ ディスゲッター
- ・ ワンバウンドふらばーるバレー
- ・ 囲碁ボール
- ・ 卓球



クラブ・サークル紹介

南地区みんなで歌おう会

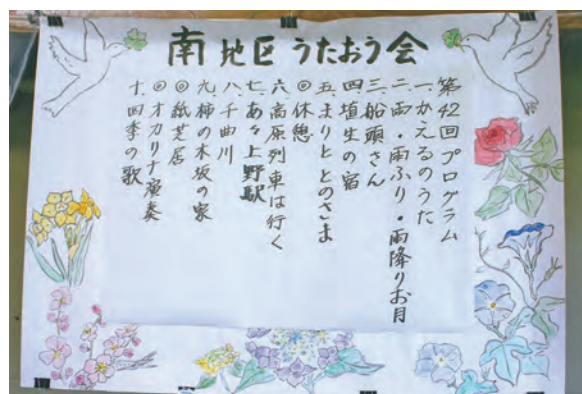


知っている曲に
合わせて体操

①いつから活動していますか？ 9年目

②いつ活動していますか？ 月1回

③どこで活動していますか？ 南農事集会所



この会も9年目に入り、スタッフも徐々に増え、協力し合いながら進めています。

当初は女性のみの参加でしたが、男性の参加も増え、会場の歌声も深まっています。

毎回、お口の体操から始まり、リクエスト曲をみんなでも楽しく歌っています。子どもの頃歌った曲、若い時歌った曲、大好きな演歌や流行歌等々ジャンルはさまざまです。お茶タイムでは、持ち寄って飾った花を愛でる時間も楽しみの一つとなっています。60歳代から90歳代の幅広い参加でピアノ、オカリナの伴奏で楽しく歌っています。

また、「喬木村の民謡」の紙芝居では、村の地名も出てくるので、紙芝居をきっかけに話も盛り上がり

ます。
「歌をうたう」「おしゃべりをする」「体を動かす」を中心に、これからも地域の皆様と共に、楽しい時間を過ごしていきたいと思っています。

櫻井 菜那さん (小6)

ポジション：セッター

●きっかけ

4年生の時、学校の授業でやって楽しくて練習の時に体験させてもらって入った

●雰囲気：仲良しで高め合っていけるチーム

●目標：強いチームに勝って県大会に行きたい

林 青司くん (小3)

●楽しいところ：試合が楽しい

アタックを打つのが楽しい



7月21日 諏訪市でソフトバレー大会あり。それに向け、練習中!!



親子で楽しく体験中!

喬木ジュニアは、村内の小3から6年生13名で活動しています。また、先日の大会では、6年生の大活躍で南信大会に出場しました。昨今のハイキュー!!ブームやオリンピックイヤー、全日本男女の活躍もあり、5月に行われたバレーボール体験会では、20名近くの体験者が集まりました。当日は、手つなぎ鬼をしたり、実際にボールに触れ、試合をしたり、笑顔溢れる楽しい時間となりました。



喬木ジュニア



体験者随時募集中!!

喬木ジュニア (小学1年生～6年生男女)

活動時間：火・木曜日 18時～20時

土曜日 13時～17時

※活動時間は、学年により異なります。

場 所：喬木中央社会体育館



「アットホームな郭分館」

郭分館長 森山 康晴

郭分館は、本年度より従来の「体育部」と「社会部」を一つに統合して「スポーツ・文化部」と称し、部長も一人減の見直しを図り新体制でのスタートとなります。

活動内容においては、各種行事の中でも本年度は「敬老会」を柱として盛大に開催するように計画しています。長寿を祝い、高齢者から小さい子どもたちが親睦を深める集いの場になるよう役員も楽しみながら計画を進めています。

あと、これは私の腹案ではありますが、郭の敬老会は七十五歳以上を対象に招待をしています。その方の親世代に当たる卒寿を過ぎた方々と一括に「敬老」とされることに対して抵抗を感じる方もおられます。郭の敬老会は、小学生以下の子どもによる余興など郭住民が「アットホーム」に集う場です。本年度以降よりこれまでとは違う名称で開催できればと模索中です。

今後「不易流行」の精神をもって、明るく住みよい郭の地域づくりと、より一層の親睦を深められる公民館活動を進めてまいります。

また、コロナ禍以降より運動会を中止しましたが、その分本館主催の年二回開催する「スポーツ交流会」に郭分館として積極的に参加し、その後の慰労会も盛大に行っています。

郭分館は、村の十六分館ある中で大島分館と並び一番小さな分館です。本年度の新役員（一期二年間）は、四十代から五十代前半が中心の子育て、仕事と多忙な方々です。

正月飾りのおやす作りの様子



(活動) やっとるにー!!

たかぎ短歌会 水無月歌会 詠草

娘のくれしカーネーションの鉢眺め「長生きしたね」とし
じみ思う 和田 京子

色淡きアレンジ花を頂きぬ心やさしい嫁の心根

小椋 りよ

祭壇の竹馬の友は人生を謳歌して逝く春風に乗り

知久 美子

大てまりカ一杯ふくらみて初夏の陽はじく白き気高き

木林 睦枝

墓参り坂道未だ雪残り「天に召される」と息子に止められる

内山 貴子

母の日にたわいない会話と食事して今年も贈る感謝の花を

塩澤真由美

ふと思う鏡に映る我が姿母に似て来し姉にも似たり

元島 康子

孫たちの手助け嬉し草刈りや田植えもはかどり夫の亡き春

木下 寿子

どうしても三コマ絵柄浮かばない高齢者講習認知のテスト

市瀬 准子

高二の孫ら五十余名が奏でたる課題曲マーチ胸に響きぬ

田中 妙子

萌え出でて山の緑も濃くなりてウツギの花の白さ際だつ

内山 和子

燕が今年も軒端に来てくれた独居の媼晴れやかな声

福澤 亀人

喬木村俳句会 水無月句会 詠草

初めてのチヨコはおばる子夏帽子
夏めくや皺残りをり綿のシャツ

木下 瑞恵

菖蒲湯や蟻が一匹淵に居て
「今何時？」母と訊ねし時計草

矢澤 恵美子

歌声にめぐる遠き日若葉風
主亡き紫陽花に雨降り注ぐ

松島 みのり

見渡せば河岸段丘夏来る
風薫る歳重ねしも青春や

宮島 高枝

田植え終ふ水面に映る父の影
峰の家老鶯の囀かな

村山 たか子

舟下り万緑仰ぎ水しぶき
叩かれて逃れ生きてや笑う蠅

原 美恵子

初曾孫のみつむる瞳にも若葉風
たすき掛け母の盥へ柿の花

西元 くにこ

風起ちてなびく藤浪下校生
傘寿超ゆ坂を上りて茶の香り

市橋 ヨリ

伽羅路や笹の葉のまぎれをり
大青嶺我を迎へる旅の果て

松葉 孝子

俳友と花語り合ふ国なまり
あけすけの孫の恋ごと花りんご

吉川 てる子

150周年記念喬木まつりステージ発表出演者の募集

9月28日に開催される喬木まつりのステージ発表の出演者を募集します。

- ・申込期限 **8月2日（金）**
- ・申込方法 1. 公民館本館（教育委員会）にお問い合わせいただければ、「出演申込書」を送付します
- 2. 右に記載の二次元コードからも申し込み可能です

※出演時間に限りがあるため、応募者多数の場合は喬木村民または喬木村出身者の多い団体を優先とします。



WEB申し込みフォーム

お知らせ

第1回公民館平和学習会

日時：令和6年8月2日（金） 19:00～

場所：福祉センター多目的ホール

内容：「荒野に希望の灯をともし

～医師・中村哲 現地活動35年の軌跡～」

入場 無料、申込不要

.....
 棕文学夏期講座

日時：令和6年8月18日（日） 14:00～

場所：棕鳩十記念館・記念図書館 2階研修室

講師：菅沼 利光 先生

演題：「ああ、棕鳩十は詩人だったんだ！」

入場 無料、申込不要

.....
 武田信玄狼煙リレー

日時：令和6年8月24日（土） 9:20～

場所：・富田城山

・加々須茶臼山

入場 無料、申込不要



お問合せ 喬木村公民館 0265-33-2002

「男女平等日本の歩み鈍く」
 6月13日の信毎二面。
 スイスのシンクタンク、世界経済フォーラムの報告。各国の男女平等度の順位で、日本は146カ国中118位。女性の管理職や国会議員の比率が順位の低さに影響したとある。報告は、経済・教育・健康・政治の4分野で男女間の格差（ジェンダー・ギャップ）を分析して数値化したもので、去年の125位より改善しているようだ。

県内の女性の社会参加推進に関わる人が、女性の社会進出や昇進のために「育児や家事と両立して女性が働き続けられる環境づくりに向け、男性の働き方改善も進める必要がある」と指摘していた。
 身近な実情からみれば、村会議員や役場・学校の管理職も男性が多くを占めている。自治会や公民館役員、区会議員などもほぼ男性。男性の考え方や感性でものごとが進んでいるとも言える。

一方、家庭生活に目を向け、若い夫婦の話を聞いてみると、共働きであるがゆえに、子育てや家事などを分担しながら忙しい生活を送っていることが伺える。夫が子どもの病気や世話で朝遅れてくることもあるが、当たり前にあつてよいことだ。若夫婦の多くが同等が当たり前となつてきている今、それを地元の地域活動へどう繋げるかが問われている。男女平等とは何か？とのとらえ方にもよるが、国レベルでの法的な枠づくりや地域活動での女性定員枠の設置などにより女性の考え・感性を反映できるようにすることもそのひとつだと思ふ。

あのとこ
このとき

公民館長



今回の表紙

題字

奥村陽菜さん（喬木中学校2年）

小学1年から習字教室に通っています。字がきれいって言われるのがうれしいです。今回は「たかぎ」のバランスをとるのが難しかったです。



写真

仲田 昭二さん

夏の真っ青な空に元気にひらく、太陽のようなひまわり
 まさしく夏の風物詩！

ご意見・ご感想
お待ちしております

館報を読んで思ったこと、感想をお寄せください。寄稿も大歓迎です！
 喬木村の公民館報をみんなで作っていきましょう！

☎ 0265-33-2002

mail: syakai@vill.takagi.lg.jp

編集後記

昨年、館報をリニューアルするにあたって取材に伺った短歌会にそのまま入会して一年が過ぎた。季語がなく、ある程度自由に作れる短歌を私は日常のちょっとした出来事や空模様など日記のような感覚で作っている。仕事の関係などでほとんど幽霊部員と化しているが、添削いただくと勉強になるし励みにもなる。
 現在大河ドラマでは平安時代が描かれており、しかも主人公はじめ百人一首などに歌が残っているような人物が多いので、歌の背景を想像するなど違う見方もできます。ますます楽しくなっている。